

新規就農先輩の軌跡 No.136

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>まるお ともあき 氏名：丸尾 友明 住所：赤穂市砂子 年齢：41歳</p>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>農地：40a（借地40a） 施設：収穫用ビニールハウス2,520㎡ 育苗用ビニールハウス：360㎡ 経営内容：施設いちご25a （観光農園を含む） 労働力：本人、妻、父、母 臨時雇用5名 出荷先：観光農園、自家直売、スーパー、 JA直売所、ホテル等</p>  <p>ハウス内の様子</p>
<p>就農から現在まで</p> <p>2002年 東京農業大学卒業 2003年 兵庫県立高等学校教諭 （農業） 2015年 新規就農（認定新規就農者） 2017年 農業委員に就任 2019年 青年農業士 収穫用ビニールハウスを 15a→25aに拡大した。 2020年 認定農業者 MBA塾を受講。</p>	<p>就農で良かった点、苦労した点</p> <p>○良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> 家族との時間が増えたこと。 手間暇かけた分だけ成果に反映されやりがいを感じることに。 <p>○苦労した点</p> <ul style="list-style-type: none"> いちごは農繁期になると毎日収穫作業があり休みが取れないこと。 時期によって収穫量に波があり、それに応じた営業が大変であること。
<p>農業をめざした動機</p> <p>○農業を目指した動機</p> <ul style="list-style-type: none"> 教諭のかたわら自分自身で農業をしてみたいと思っていた。 <p>○いちごを選択した動機</p> <ul style="list-style-type: none"> 就農地の赤穂市には、いちご生産者が少なく、また気候が良くいちご生産に有利であったため。 	<p>後輩へ贈る言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 「成功するにはセンスと運が必要になる」。聞いた言葉であるがそのとおりだと思っている。運と言っても日頃の行いが大切なため、日々できることをしっかりと行い、技術を磨き積み上げていって欲しい。